

# A P B F 特別礼拝

共に祈る時私たちは力を得る

2020年8月16日

共に祈る力アジア太平洋バプテスト盟

APBF 会長 エドウィン・ラムははっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなぐれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなた方のうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、私の天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。

マタイによる福音書 18 章 18 節～20 節少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。『父よ、できることなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の願い通りではなく、御心のままに。』マタイによる福音書 26 章 39 節

また今年も APBF 礼拝の主日を迎えることができますことを主に感謝し主を賛美します。ただ例年と違うのは我々が世界的危機の只中にいるということです。COVID-19 によるパンデミックが、地球上のあらゆる場所に蔓延する中、研究者、医者、科学者がワクチンそして治療法を探し求め続けています。このパンデミックは世界を完全に変わってしまっただけではありません。このパンデミックにより人々は明らかに祈りを求めているのです。すなわち全能者の御顔を求めているのです。クリスチャンとして祈るということは呼吸をするようなものであり、聖書を読むことは日々の食事をとるようなことです。

ここで私が述べているのは一人隠れた祈りではなく、共に祈るということです。マタイ 18 章 18 節から 29 節では、共に祈る力の本質を述べており、一方同じマタイの 18 章 15 節から 17 節では、対立に対処するとき、共に祈ることによりその力が発揮されるということを示唆しています。ここでは神より与えられたつなぎ、そして解き放つという力と特権が、逆に天をも動かすということを語っているのです。

このことは主イエス・キリストが我々の中心におられ共に集まる信者の団結に基づいています。主は力強く申されます。天の動きに人間の動きが勝るということを。すべてをご支配なさる神は、主が望むとき望むように御心のままに何事をも行うことができます。しかし主は私たちに自由意思をお与えになったがゆえに、主はご自身を制限なさることをお選びになりました。主は我々に自由意思をお与えになられたにもかかわらず、神は我々と共にいてお働きになることをお選びになりました。人は神の意志か自分自身の意志かどちらかを選ぶことができます。もちろん、それらの選択への責任は生じます。人は神の意志を遂行するために自由意思を用いずに、自身の計画と野心を求め、それは結果として罪、自己愛、殺戮、暴力、そして神から離れるという邪悪なものをもたらすこととなった。しかしながら主イエスが来られ、祈る時、神の意志を愛をもって熱心に祈り求めました。『父よ、できる

ことなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の願い通りではなく、御心のままに。』(マタイによる福音書 26 章 39 節)

神はイエスに満足されたことは言うまでもありません。さて我々地上のクリスチャンは、キリストの義を担っているがゆえに、主の意志を求める新たな者とされました。自己愛、身勝手、自己依存、わがままのいずれかが原因で、教会もまたつまづくことがあります。我々は神が望まないことを神にさせることはできません。しかし神が望んでおられることを邪魔することができるということを忘れてはなりません。これこそクリスチャンに与えられた大きな責任と特権なのですから。

我々クリスチャンが完全なものとされ、キリストが再び地上にこられる時、完全なものとされた私たちは、愛情をもって熱心にそして完全に神の意志を求めるようになります。ウィリアム・ケアリーはこの思慮深い言葉を残しています。

“神のために大いなることを企てよ。神から大いなることを期待せよ。”

これこそ教会がなすべきことです。まず手を取り合い心を一つにしてコロナを縛る祈りをささげましょう。そして神に信頼し、このパンデミックを終息させる解決策を主に求めましょう。そしてこの大きな破壊、災害、そして死をも、ものともせず、天の御国のために命を創り変える主の御力を解き放ちましょう。教会が共に祈る時これは現実のものとなります。

これこそ神が今ここで求めておられることです。すなわち、教会は主イエスキリストと同様に神の意志を強く求めることによって教会は命の糧となり、日々の糧となるであろう。(ヨハネによる福音書 4 章 34 節)

このように我々が祈る時はいつでも、イエスのみ名のもとに、つなぎ解き放つことができるのです。私は、我々人間が神の主権、力を覆すほどの力ある者だと言っているわけではありません。私がここで言っているのは、神は逆に我々に主のみわざをこの地球上にもたらすため、つなぎ解き放つ特権をお与えになっているのです。もちろん、天地をご支配なさる方として、主はその大いなる愛のゆえに、我々の生活を覆し、新たなものとするもおできになるのです。ゆえに神の意志にしたがって、祈りをささげましょう。主イエスがマタイによる福音書 6 章 19 節で教えてくださっているように。“御心が行われますように。天におけるように地の上にも。”

“クリスチャンとして祈るということは呼吸をするようなものであり、聖書を読むことは日々の食事をとるようなことです。”

APBF 共に立ち上がろう

APBF 総主事 ヴィセコイ・テツェオ

インターネットで Covid-19 のパンデミックに関して検索してみてください。

Covid-19 にまつわる多くの話題で書かれた何百何千という記事が見つかることでしょう。数か月前には、現在私たちがこのような状態になるなんて誰も夢にも思わなかったことでしょう。インドから 2 月に帰国しましたが、それが私の今年度の最後の旅となりました。WHO はまだコロナウィルス感染に対してパンデミックとしての緊急事態宣言を発出しておりませんでしたし、隔離など想定していませんでしたが、バンコクのサバナブビ国際空港ではすでに Covid-19 に関して警戒状態にありました。しかし私は人々がマスクを着用し始めていることがわかりました。

人々はその背後に潜んでいる危険をすでに察知していたのです。その一月後には人種差別がその醜い顔をのぞかせ始めました。教会も賛美礼拝の集会のためのドアを閉ざし始めました。そして世界は変わってしまったのです。それ以来 5 か月の間、世の中の在り方は変化してきました。何百万人もの人が命を失い、ウイルスに対する戦いは終わりそうにありません。多くの事業者が破産を宣告し、何百万人もの人々が失業しました。経済は今年度内に急落すると予測されています。旅行にはより制限がかかるようになるでしょう。

人々は人と会うことに不安を覚え続けることでしょう。ましてや会議などともないことです。しかしこれらの悲しい出来事の中にあっても、希望や回復力に関する話も存在します。記事は人々に人間らしくあってほしいと叫び求めています。

す。連帯を求め、希望を持ち続けるようにと訴えます。リーダーたちは世界中の人々に地球規模で助け合うことを求め訴えています。

その通りです。私たちにはまだ希望があります。なぜならキリストは死から蘇ることにより、死に打ち勝って、イエスの復活は我々にあらゆる被造物への主の御力と権威を保証してくださっているからです。ですから私たちには希望があり私たちは（苦難を）乗り越えます。APBF もまた BWA と共に“共に立ち上がろう”というテーマを掲げ、希望を求めて叫びます。この戦いの中で、あなたは一人ではありません。私たちが共にいます。“あなたは一人ではない”というこのメッセージは、すべてのバプテスト信者の皆様と共有されるに違いありません。

そして私たちはこのメッセージをこの特別な APBF 特別礼拝に響き渡らせたいのです。私たちが APBF 特別礼拝を祝うとき、“アジア・パシフィック・バプテストが何十年も前にこの“共にいる“、ということ、“BWA の中において一つのバプテストの家族として共に集まること“、を必要としていた時代”を思い起こすことができますように。我々は現在 22 か国に 63 の集会を持っています。私たちは一つの体「主は一つ、信仰は一つ、洗礼は一つ」（エペソ 4 章 5 節）として集まっています。

私たちは“アジア・パシフィック全体でキリストによって創り変えられた命をもって集まるバプテスト“を展望としています。私たちがこの展望をもって生きら

れますように。我々が地域に仕え、その命をキリストイエスによって変えていただくことができますように。APBF、BWA、そして世界中の人々と共に、連帯し APBF 特別礼拝を祝い主にあって平安がありますように。

## 祈りの課題が APBF から届きました。

タイ：カレンバプテスト 集会

\*タイのクリスチャン組織の一致のために。

クリスチャン指導者たちが主の前に慎み深くあり主の御声に耳を傾けるように。

世界中の主の教会のために。

ネパールバプテスト教会会議

NBCC の指導者、NBCC のすべてのスタッフ、各部署、各地域、地元のバプテスト教会牧師、執事、若者の指導者、男女リーダーたち、年輩者、病んでいるものすべての信者の健康、霊的成長並びに成熟した生活のために。

世界中から新型コロナウイルスの影響をできるだけ早く阻止するための祈り。



クリスチャンの活動を妨げ、ネパール政府が反改宗法を通過させた中であって、キリストへの生ける証人であるネパールのクリスチャンのために。

ガロ バプテスト集会 バングラディッシュ大雨による大洪水と山岳地のがけ崩れを経験しているバングラディッシュのために。

これにより、民衆や信者の家、田んぼ、池の魚、年輩の者たちがひどく影響を受け損害を受けていることを覚えて。

失業者、無職の者、並びにコロナウイルスのため食料を必要としている人々のために。

国内でコロナウイルスのために閉鎖された教会、礼拝で席を共にすることができない者のために。インターネットを活用しズーム等で礼拝が可能な地域もある。

日本のための祈り

\* 東京のような大都市でコロナウイルス感染者は増加しています、他県に広がることがないように抑制できるよう祈りましょう。

\* 先週火曜日までにわたり、沖縄県の5つの基地で合計99件の感染者の報告がありました。沖縄の米軍基地にかかわる人々のために祈りましょう。

\* 再開しつつある教会に礼拝を維持する知恵と想像力が得られるように。

\*このコロナ流行の危機のなかで、クリスチャンが福音を分かち合うことができる知恵を与えられうように。

\*オウム真理教のような問題のあるカルト集団が原因で、いかなる組織化された宗教も疑念を持って見てしまっている日本人々のために。

日本においてキリストの証人であり続けられるように。

## 沖縄バプテスト連盟

\*人材育成 Human resource development

\*教会成長と教会開拓 Church growth and church plant

\*世界宣教への取組み Vision and Passion for World Mission

## オーストラリアバプテスト宣教会（オーストラリアバプテスト連盟）

\*オーストラリアの先住民族に神の特別な守りがあるように。特に遠隔地における人々のために。

\*コロナウイルスの影響を抑えるために働く国の指導者たちに知恵が与えられるように。

\*この不安な時代において、言葉や行いでも良き知らせを共有できる機会が地元の教会に与えられるように

インドのための祈り

\*アジアタイムズニュースはインドの感染の波を、“コロナウイルス感染が悪化する中で、インドは舵のない船の家で漂っている。”と報じた。インドは今やアメリカ、ブラジルにつき、第3の世界最大感染国である。

\*パンデミックは他の都市、街に広がり、デリやムンバイといった大都市は最悪の感染状態であるにもかかわらず、再びロックダウンが課されたのはいくつかの地域だけである。公式発表よりも感染者が多いという恐怖がある。

\*ニュースは、デリの状況は最悪であると報道しているが、同時にパンデミックの影響は移民の労働者たちへも及んでいると報じている。数か月にも及ぶロックダウンにより何百万人もの人々が職を失ってしまった。多くの人々家族は自殺している。

\*この困難な時を歩む知恵を、特に貧しく、飢えている人々の必要に応える知恵を必要とする教会の牧師や指導者のために、コロナウイルスから守られ仕えることができるように祈りましょう。

ロンメイ ナガ パブテスト 教会      インドマニプル州

\*国際平和と協力関係のために

\*アジアにおけるクリスチャンリーダーと教会の一致のため

\*世界経済のために

APBF ビジョンアジアパシフィック全土における、キリストによって変えられた命によってバプテストが一致すること。

APBF 使命

大宣教を達成するため、協力し合い、ネットワークでつながり、訓練し、仕えることによってバプテスト信者を励まし、知識を与えることである。

APBF とは？我々APBF は、アジア太平洋地域にまたがる 22 か国の 63 の教会連盟と 3 万 3 千以上の教会を代表するものである。

Asia Pacific Baptist Federation Goya 3-22-5, Okinawa City Okinawa 904-0021,  
Japan

\*翻訳作業を宮城実子姉（首里バプテスト教会）に担っていただきました。ご奉仕に感謝しています。